

自然冷媒によるフロンガス規制をPR

キャレルジャパン



自然冷媒による環境システムをアピールする柴田社長



◀◀ 懇親会ではさまざまな意見が交換された



熊倉基之
環境省地球環境局
フロン等対策推進室長



大木雅文
経済産業省製造産業局
オゾン層保護等推進室長



マーク・シャセロット
shecco japan 社長



冷凍空調用制御器販売のキャレルジャパン(株)(福岡市南区塩原3丁目、柴田勝紀社長)は4月2日、新丸の内ビル(東京)で環境先進技術を発表する「アトモスフィアアジアネットワーク会議」を開催した。

経済産業省や環境省の環境関連関係者をはじめ、マーク・シャセロットshecco japan(株)社長などが講演。熊倉基之環境省地球環境局フロン等対策推進室長は「先進技術を利用した省エネ

型自然冷媒機器普及促進事業」により、補助金制度が大幅に改定されることを発表。柴田社長は「CO₂(炭酸ガス)を冷媒としたシステムへのキャレル社の技術サポート」について説明し、今後急速な普及が予想される同システムをアピールした。当日は大手コンビニエンスストアを中心とした流通小売企業や、機器メーカーから約50人が出席し、自然冷媒によるフロンガス規制への関心を高める。